

42 破天荒

平成三十年度版

創刊
第九号

県大会出場おめでとう!!頑張れ42回生!!

卓球部 (11/2)	女子団体	阿曾 佑実 (1-4) 藤本 優杏 (1-5)	石田あかり (1-5) 森園 梨加 (1-5) 藤本 優杏 (1-5)
	女子ダブルス	阿曾 佑実 (1-4)	
バスケットボール部 (10/27~)	女子	杉光 怜 (1-1) 廣村 英 (1-4)	藪内歩乃佳 (1-1)
剣道部 (11/9~11)	男子	亀井 大誠 (1-1) 谷口 翔大 (1-3) 古田 芽空 (1-4)	吉川 尚孝 (1-1) 藤田 正喜 (1-4)
	女子	武元 愛那 (1-4)	片山 菜摘 (1-3)
ソフトテニス部 (11/2)	男子	徳力 琢真 (1-2) 嶋津 日向 (1-5)	八木 和将 (1-4)
	女子	井村 星那 (1-1) 林田 真奈 (1-5)	八木 亜瑚 (1-1)
陸上競技部 (11/3, 4)	男子	大高 流南 (1-2) 江林 蓮生 (1-4) 荒木 鷹飛 (1-5)	駅伝 備生 智大 (1-2) 竹迫 蒼真 (1-4)

天高く馬も人の脚も
肥ゆる秋です

文理選択予備調査から

九月下旬に、文理選択予備調査を行いました。その後、各自の進路希望の思い・成績も含めて、各担任との面談が行われました。それを受けての中間考査で、皆さんが、今まで二回の定期考査と比較して、どのような準備・取り組みが出来ましたか。また、保護者の目には、お子様の姿がどのように映られたでしょうか。

四十二回生の特徴として、薬学部希望・兵庫県立大学環境人間学部希望が多いです。高い志を持って、その気持ちを守り、日々の学習に取り組んでもらいたいと思います。

ところで、それだけ薬学部志望が多いのには、どんな理由があるのでしょうか。『夢』『資格取得』いずれにしても、とてつもなく高い壁に立ち向かう勇氣・努力が必要であることは、十分理解できています。目指す自分を裏切らない日々を過ごして、二年先には本当の『夢』として、追ってほしいものです。

また、兵庫県立大学環境人間学部で、何が学べるのでしょうか。その先に、どんな道が広がるのでしょうか。『一級建築士』『管理栄養士』と、まるで何でもできるような感じがします。『夢の国』のような大学・学部が、一番近くにある国立立大学ならば、行きたいと思ってしまうのかもしれないですね。そこに自分のしたいことが本当にあるのならば、是非目指して下さい。ただ、『何でもできる』は『何もやり切れない』ということもよくあります。しっかりと調べて、行動してもらいたいものです。

主に、看護師・薬剤師・栄養士・検査技師等を志望している人へ

職業への強いこだわりに対して、何故その職を志望するのか、その思いを第三者に堂々と、原稿用紙三枚程度に書き上げることは当たり前にはできません。人の生命に大きく触れるこれらの職業です。資格が手に入るというレベルで、大学・専門学校に入れても、それを職業として、多くの辛いことの中から見える、僅かな光明・やり甲斐を感じていくには、目指す以前に自分の決心が、いつ・誰に・どのように聞かれても、自分の言葉で伝えられなければ、夢は、目標は叶っていきません。この時期、自分が目指す職に関する職業観と向かい合ってください。そこに、疑問、悩み、決意が浮かんでくれば、職として、日々向かい合える将来への、必要条件は満たされます。そこに、自分がこれから培っていく努力によって、職を全うしていく十分条件が身に付いていきます。

思うだけでは努力は続かぬ
想いを行動にしてこそ
逃げたくない心が生まれる
大いに悩み 大いに努力せよ

暮らしの行動

①塾の自習室

最近、増えてはいませんか。自主的に、やっていると見えませんが、その実多いのは・・・自習室は、喫茶談話室・スマホ操作室になつていく場合も多くなつてます。

②家庭が寝る場所・食べる場所だけに

なつていませんか。遅くまで、外で頑張ってきたから、夕食食べて、風呂入って、少し休んでからもうひと頑張り。のつもりがそのまま睡眠。これは、①に加えて、塾が宿題をやる場所に変貌してしまします。質問している内容が、宿題の質問以外に、もう一歩踏み込んだ話、例えば、週明け提出課題(あえてこう呼びます)の質問などにつながっていくれば、塾の利用価値が上がるのですが。

③お菓子の摂取量

勉強しているとお腹が減る、といった言葉もよく聞きます。ところで、学校にお菓子? 中学校では、考えられなかったことが、何故? 高校では、別にいいのかな。そんなことはない。それに、お菓子を食べるのはどんなとき? 折角のやる気が、空間が、なんちゃつての時間になつていってしまいますね。

何事も、切り替えです。より効果を上げる工夫が、成果につながり、自分のやる気を持続させてくれます。考えてみて下さい。

今後の予定

十一月	三日 (土)	ベネッセ記述模試
	五日 (金)	トライやるウィーク
	八日 (木)	創立記念日
	十日 (土)	土曜講座
	十四日 (水)	相高生フォーラム
	十六日 (金)	国際理解講演会(三・四限)
	二十一日 (水)	通学路清掃
	二十二日 (木)	金曜日の授業(振替)
	二十三日 (金)	文理科目選択希望調査締切日
	三十日 (木)	土曜基礎講座(指名者) 期末考査
十二月	十二日 (水)	GTEC
	十四日 (金)	第八回挨拶運動 二組
	十九日 (金)	保護者懇談会(三・六限) 短縮
	二十一日 (金)	終業式

スタディ・サポートから見る 四十二回生のいま

夏休みの生活を想像・予測することができ、今年度二回目のスタディ・サポートを、九月十五日に行いました。その結果が、中間審査中に戻ってきました。四十二回生の特徴は、四十・四十一回生同様に、真面目で、失敗をすることを嫌がる。失敗するくらいならば、「やらない」「できない」という言葉を使う傾向があります。「課題が多い」という声をときどき聞きますが、近隣校と比較しても、課題用問題集などは少ない方だと、本屋さんなどからも聞かえてきます。

課題・週末課題等が多いと感じる理由は、

「いつから」始めていますか？
「いつ、課題の確認を」していますか？
「授業のあつた日」なのか、「次の授業の前日」なのか？

教師をしていて感じる怪奇現象

授業が終わると、聞こえるか聞こえないかの声で「全然わからない」とつぶやく。

試験前などに、授業で「質問あったら聞くからな。ないか？」の問いかけに、黙々と解答を聞いて、試験調べという名で、提出用ノート作りに励む姿。

質問会に多く参加しているが、「何を」質問するわけでもなく、そこで熱心に勉強している姿。

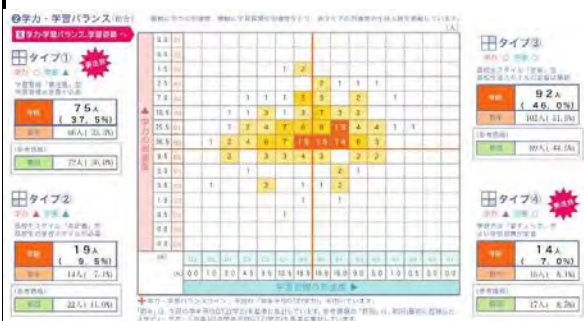
いずれも、学びのスタートのタイミングが、少しずれていきますね。「やらねば」に対して、「どこまで」が少し不足しています。「全然分らない」と感じる事の多くが、調査では正解という結果を出せるのは何故でしょう。「真似る」ということを、すべて「真似られる」ことを、「何故そうなる」ということを、すべて「授業中の時間を済ませよう」と「済んだ」と考えていることが、前述した現象になっっていると思います。「できる」力を、「いつ」発揮するの？それは、「分らない」と感じた、まさにその「瞬間（いま）」ではないのかな。

学校では、何を学ぶのでしょうか？自分の知らないことです。それを、自分の知っていることから、切り崩すことが、本当の『学問』です。「知らないからできない」も仕方ないから、「知らなくて悔しい」は、「知らないこと」が分かって嬉しい。感じる毎日になる生活をしましょう。

最後に、「全然わからない」の「全然」に対して、あなたはそのパターンでしよう。

- ① 授業で分らないのだから、自分には必要ないと、その話を切り捨てていく。
- ② 授業で分らないのは、自分は悪くないから、とりあえず今は放っておこう。
- ③ 分らないことを悔しいと感じて、その日に教材を開いて復習をする。
- ④ 分らないことは悔しいが、考査前に見直して、考査でできればいいと、考える。

第 2 回（2 学期開始当初）



学力と学習習慣の相関

大きな変化がなさそうですが、中央に多くの生徒が集まりながら、右上画面に、右肩上がりながらの直角三角形ができてきているのが分かりますか？一方、左下画面で、本校のクロスラインから離れている生徒が、ちらほらと出てきているのも見て取れますね。中央に寄ったのは、迷いがある中で、とにかくやろうという生徒が増えてきている証拠です。その中で、右肩上がりながらの直角三角形の位置が右上に大きくできてくると、チームとして勢いが出ます。自分の夢を見据えて、生活習慣が身に着けられますか？

第 1 回（4 月入学当初）



希望進路詳細

選択肢	今回	前回	前年
国公立大	61.0% ↓	63.0%	69.7%
私立大、大学院	7.0% ↑	1.0%	5.6%
国公立大・私立未定	18.5%	18.5%	14.1%
短大	3.0% ↓	6.0%	1.0%
専門学校	4.0%	4.0%	1.0%
海外進学	0.5%		
未定	5.0% ↓	7.5%	8.1%

ここにも 4 2 回生の特徴がみられます。第 1 回の希望進路調査でも、他学年に比べると、何が何でも国公立という希望結果ではありませんでしたが、第 2 回も希望が減っているようで大きな変化はありません。一方で、短大・希望進路未定者が目に見えて減ってきています。つまり、目標設定が、前向きな形で見られます。

ならば、何に注目すべきか？設定した目標達成のために、日々、その気持ちをどう持続させるかということになりますね。その答えは、もちろん学習時間の確保ですが、それ以上にどんな中身にするかです。次のことを心掛けましょう。

- ① やることを具体化すること
「何を」をはっきりして、「どうやる」かを徹底して、短時間の数セットの学習で、めりはりをつけること。15分単位が良いと思います。
- ② 小テストの準備に、妥協なく行うこと
「一応見た」から「合格したいな」でなく、「満点」取らないと意味がない、という気持ちを育てること。妥協は、努力・前向きな気持ちにブレーキをかけます。

あなたの海馬が あなたに叫ぶ

- ・ 暗記力を高めるには、記憶が途切れそうになった、まさにそのとき、再度暗記にかかりなさい。それを **繰り返せば**、記憶が確かなものとなり、効果的な暗記学習が達成されます。（うろ覚え学習）
- ・ 大事な文章を覚えるには、感情を伴った抑揚を持ち、体を使って記憶に励むと、成果が上がる。（と、ドラゴン桜でも紹介されました）
- ・ 憶えたことを整理したければ、寝る前の **1, 2 時間を、食べることをせずに集中して記憶に励み、しっかり 6 時間の睡眠を心掛けること。**（睡眠は 絶対に取らないと駄目）

皆さんが、自分の将来に向けて、何かを手に入れたと感じるのはどのタイミングですか？

- ① 学校での文理選択希望がかなったとき
- ② 志望する学部学科に合格したとき
- ③ 志望する職業に就くことができたとき
- ④ 志望した職業の中で、自分に達成感を感じることができたとき

ぜひ、④であってほしい。が、今は、高校生の多くが ① である気がしてならない。それ以前に、相高 4 2 回生は、胸を張って上の質問に答えることができますか？

週に一度はポータルサイトに書き込ませ

ポータルサイトの登録は無事終了しました。他校の先生とお話しても、活動報告・ポータルサイト入力環境の整備にしろ、驚かれます。問題はここから。では、どう活用する？学年の先生方は、この間の模試志望校入力など、いろいろ、皆が書き込みやすい入力呼び掛けの工夫をして下さっています。次は、総合的な学習のポータル発表や、部活動の試合結果、あるいは、地域行事に参加しての報告ができません。週に一回、自分の成果を記入しよう。なくても見つける。一週間に一度くらいは、自分が主体的に活動する場面は必ずある。授業・部活動・清掃作業など。逆に、そう考えれば、日々の自分の活動に積極性・主体性・協働性が生まれます。与えられたフォルダではありません。自分のフォルダは自分でしっかりと育てていきましょう。